

派遣報告書(報告者:樋口俊司)

大会名	令和7年度国民スポーツ大会九州ブロック予選
開催地	長崎県長崎市、大村市
日 時	令和 7年 8月 30 日(土)～ 31 日(日)
担当ゲーム1	成年男子:熊本県 vs 長崎県
クルー	CC:樋口俊司(大分県) U1: 川井剛(鹿児島県) U2: 仲間芳幸(沖縄県)
担当ゲーム2	少年男子:宮崎県 vs 福岡県
クルー	CC: 樋口俊司(大分県) U1: 西崎拓哉(福岡県) U2: 佐多裕樹(宮崎県)
担当ゲーム3	少年女子:大分県 vs 佐賀
クルー	CC: 樋口俊司(大分県) U1: 西崎拓哉(福岡県) U2: 佐多裕樹(宮崎県)
(担当ゲーム)Pre-Game Conference	
・Primary,Angleの確認。PrimaryであってもAngleがcloseがあることを確認 ・EarlyRotationについて。LTTの形があることを確認。メカよりも優先すべきことがある。 ・役割(Clock,24s,8s,EOQ,EOG) ・スカウティング情報の共有	
(担当ゲーム)Post-Game Conference	
(JBA講師 柳田氏)	
・大きなトラブルなくゲーム運営が出来たことはよかった。特にお互いがお互いに信頼している雰囲気が十分に伝わるクルーであった ・EarlyRotationのタイミングは、プレイの予測を入れずにベーシックな考えを当てはめるべき ・個人的には、プレゼンの向上を意識してほしい	
今大会に参加しての感想など	
長崎でのブロック大会が続く中、この国スポ九州ブロック大会で終わりとなりました。長崎県の皆様に置かれましては、目に見えぬご苦労や負担が多々あったことと思います。本当にお疲れさまでした。 A級更新講習を兼ねた本大会では、クルーも全員A級であったため、普段のクセや今後の課題などもいただくことが出来ました。一番の課題としては、「クルーとしての判定」を研鑽していく必要があるなと感じました。判定というものを、ただコンタクトやバイオレーションの判定で終えるのではなく、その次に起こる事象にどのように対応をしてくかが判定であり、その積み重ねがゲームフローを感じることができ、ゲームをリードしていけるようになるのかなと感じました。JBA講師からの反省を伺っていても、個々の判定というよりもクルーとしてという言葉を目にしました。県内に戻り、このようなアプローチでゲームに臨んでみたいと思います。 またクルーに仕事を任せてもらえるようになるには、普段から信用されるよう人間性を鍛えていくことも忘れてはいけないことも改めて認識したところです。県内でもIRを行うときには、自分自身も意識を高め、どういった方法で伝えられるかということに心を砕いていければよいなと思います。 今大会も非常に良い経験をさせていただきました。これもひとえに家族・職場さらには本県バスケットボール協会の皆様のおかげにつきます。この経験を県内へ還元できるよう努めて参りたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻よろしくお願いいたします。	